

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日  
令和5年4月24日（月）
- 2 確認箇所  
減容処理設備（5、6号機北西側）
- 3 確認項目  
減容処理設備建設工事の状況

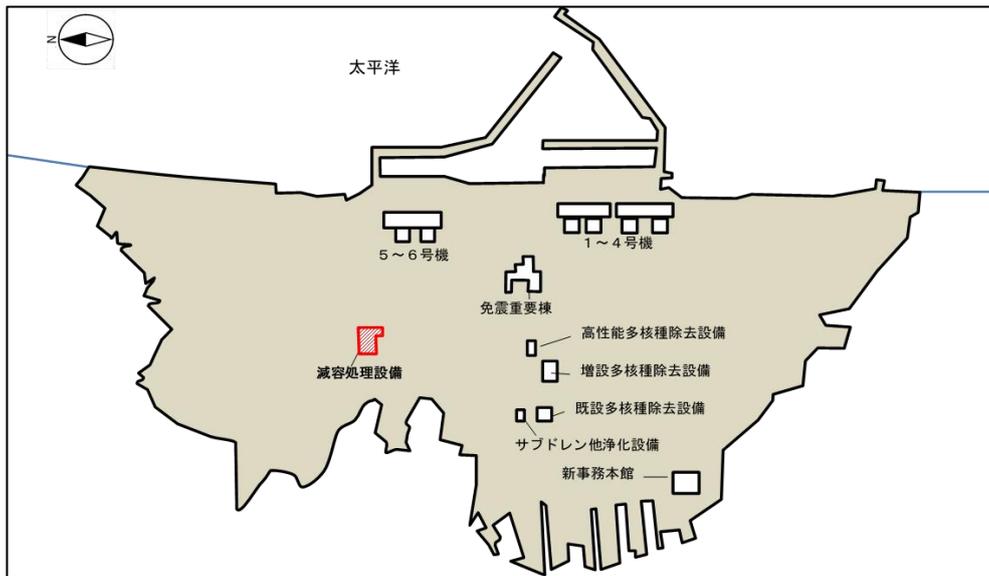
### 4 確認結果の概要

5、6号機北西側において進められている減容処理設備<sup>\*</sup>の建設工事の状況を確認した。（図1）（写真1）（前回確認日：令和4年12月14日）

- ・前回確認時には工事中であったトラックスケール及び搬入された廃棄物の放射線量を測定するゲートモニタは、整備が完了していた。（写真2）
  - ・前回確認時には設置されていなかった大型金属処理室内の門型クレーンが設置されていた。（写真3）
  - ・金属減容処理室及びコンクリート減容処理室の受入ピット周辺には放射線量を測定、表示する線量計が設置されていた。（写真4）
  - ・金属減容処理室及びコンクリート減容処理室の受入エリアと容器収納エリア等に発じん防止剤の噴霧設備が設置されていた。（写真5）
  - ・また、金属減容処理室のギロチンシャー切断箇所及びコンクリート減容処理室のコンクリート解砕機の破碎箇所と排出ベルトコンベア出口に局所集じん設備の吸引フード等が設置されていた。（写真6）
- なお、集じん機及び集じんブロワは、前回確認時に設置されていることを確認済みである。
- ・減容処理建屋内の排気は、排気フィルタユニット（HEPAフィルタ2段）を通し排気されるようになっており、排気口近傍に排気中の放射性物質を測定するためのダストサンプラが2台設置されていた。（写真7）
  - ・東京電力によると、主要設備の設置工事は終了しており、塗装工事や外構工事等の残工事や設備の調整等を行っているとのことであり、5月の中旬から下旬の竣工を目指しているとのことであった。

※減容処理設備：瓦礫等の放射性固体廃棄物等のうち、比較的表面線量率の低い（平均1mSv/h以下）金属廃棄物及びコンクリート廃棄物を効率的に保管するために減容処理を行う設備であり、新たに設置された減容処理建屋（鉄骨造り地上1階、東西方向約89m×南北方向約64m、高さ約13m）内の金属減容処理設備及びコンクリート減容処理設備等で構成されている。

金属廃棄物は、金属減容処理室内でギロチンシャーを用いて圧縮切断することにより減容処理される（減容率：50%程度、処理能力：約 60 m<sup>3</sup>/日）。コンクリート廃棄物は、コンクリート減容処理室内でコンクリート解砕機を用いて破碎することにより減容処理される（減容率：50%程度、処理能力：約 40 m<sup>3</sup>/日）。なお、ギロチンシャーで処理できない大型の金属廃棄物については、大型金属処理室内で重機や手作業により、ギロチンシャーで処理可能な大きさまで切断する。



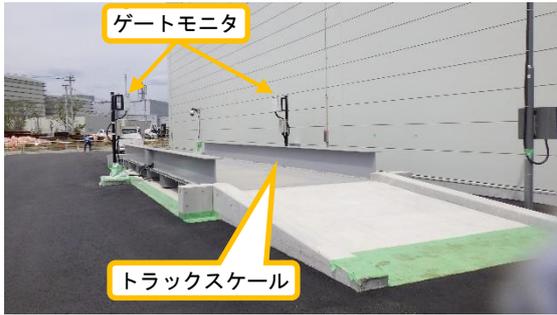
(図 1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真 1 - 1)  
減容処理設備建屋の外観①  
(南側から撮影)



(写真 1 - 2)  
減容処理設備建屋の外観②  
(南西側から撮影)



(写真2)  
トラックスケール等の整備状況  
(南東側から撮影)



(写真3)  
門型クレーンの設置状況 (大型金属  
処理室内を北西側から撮影)



(写真4-1)  
コンクリート減容処理室受入ピット  
周辺の線量計設置状況①

(写真4-2)  
コンクリート減容処理室受入ピット  
周辺の線量計設置状況②

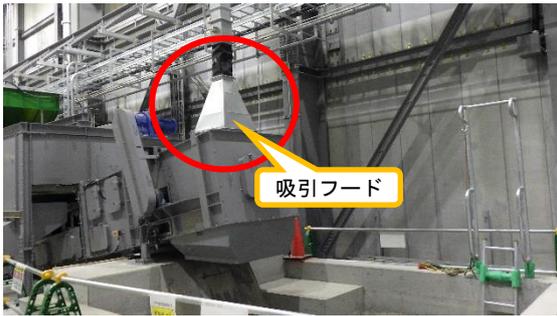


(写真5-1)  
発じん防止剤噴霧設備の設置例①  
(コンクリート減容処理室内西側)

(写真5-2)  
発じん防止剤噴霧設備の設置例②  
(コンクリート減容処理室内西側)



(写真6-1)  
 ギロチンシャー切断箇所の粉じん吸引フードの設置状況  
 (金属減容処理室東側)



(写真6-2)  
 コンクリート解砕機ベルトコンベア出口の粉じん吸引フードの設置状況  
 (コンクリート減容処理室東側)



(写真7-1)  
 排気フィルタユニットの設置状況



(写真7-2)  
 排気ブロウの設置状況(写真奥の壁際にダストサンプラが設置されている。)



(写真7-3)  
 ダストサンプラの設置状況

5 プラント関連パラメータ等確認  
 本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。